

2016年
12月号

カトリック笹丘教会 教会 ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

福岡教区今年度の目標・・・「いつくしみ深く、御父のように」
小教区今年度のテーマ・・・「届けよう、神のいつくしみを共に」

次世代に残したい歌



主任司祭 遠山満

国民的なアイドルグループであったスマップが、今年一杯で解散することが正式に決まったようです。このグループの解散は、残念ですが、彼らが歌った歌で、将来も歌い継がれて欲しい歌があります。それは皆さんも良くご存じの、「世界で一つだけの花」です。「花屋の店先に並んだ花。誰が一番だなんて争うこともしない。それなのに僕ら人間は、どうしてこうも比べたがるのか」。「No1にならなくても良い。もともと特別なオンリーワン」。「ふんふん」とつい頷いてしまいたくなる歌です。

オンリーワンの自覚を、私たち一人ひとりが持てれば良いのですが、実際には、様々な葛藤を乗り越えていかなければ、自覚を持てるまでには至らないような気が致します。イエス様の弟子たちでさえ、初めの頃は互いに比べあい、争っていました。マルコ福音書によれば、イエス様が二度目、および三度目の死と復活の予告をされた後、弟子たちは、誰が自分たちの中で一番偉いかを巡って争いあっています。それに対してイエス様は、「一番先になりたい者は、全ての人の後になり、全ての人に仕える人になりなさい」(9: 35)、「異邦人の間では、支配者と見なされている人々が民を支配し、偉い人たちが権力を振るっている。しかし、あなた方の中では、そうではない。あなた方の中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、一番上になりたい者は、全ての人の僕になりなさい」と言われています(10: 42~44)。このことを理解できない弟子たちに、イエス様は何度も繰り返し、教えられたのだと思います。おそらく、私たちも、弟子たちと同じような問題を抱えているのだと思います。

それでは、誰かが、「あなた方は、皆、一人ひとりオンリーワンと言っているけれども、あなた方の中でNo1はいないのですか」と質問してきたら、私たちは、どのように答えるでしょうか。私なら、「います。私たちのNo1は、イエス様です。他の私たちは、皆兄弟姉妹です」と答えます。

クリスマスの時期です。私たちの救いの為に、この世にお生まれになったイエス様のもとに集まり、跪いて、礼拝しましょう。この方は、私たち一人ひとりを開花させて下さる方です。ですから、多くの人を誘って、クリスマスのミサに参加することにしましょう。

開催日時：2016年12月11日（日）11：40～12：15

開催場所：信徒会館

司会：畠山

書記：牧山



1. 待降節黙想会について

12月18日（日）9時半より。詳細は12月11日のお知らせを参照。
8時のミサはありません。

2. クリスマスについて

プレゼントを500個準備し、24日と25日のミサ後に配る。
シール貼りを12月23日（金）午後1時から行います。お手伝いよろしくお願いします。

3. 新成人祝福ミサについて

1月8日（日）10時のミサで行います。対象者は12名。12月8日案内状を発送済。
同日のコーヒーコーナーをお祝いの茶話会とする。
記念品は例年と同じものを準備する予定。

4. 新年会について

アウグスチノ会総長他来福に合わせ、1月15日（日）10時のミサ後に歓迎会を兼ねて行う。
余興として岩本さんにお琴の演奏を依頼する予定。
費用については、修道会にも相談する。

5. その他

(1) 連絡網の使用について（使用範囲の拡大の提案）

現在の連絡網は小教区内の訃報の連絡に使用を限定しているが、自然災害時の安否確認にも使用できるようにすることで賛同が得られた。方法については今後検討していく。

(2) 意見

・外国籍信徒が増えている。信徒使徒職協議会でも話題となっているが、小教区共同体の一員として協働を推進していきたい。



クリスマスバザー

2016年12月4日 日曜

大盛況！！



仲間で取り組んできたものが
出来上がりました！！



バザーの宣伝にも力が入りました



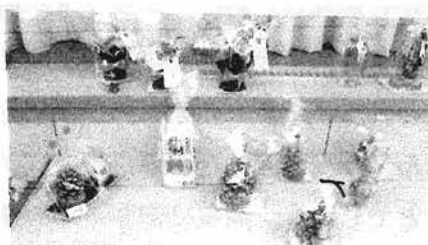
お出迎えマスコットと
子どもたちが出迎えてくれました



幼稚園の先生や父母の会の方々も
たくさんいらっしゃいました



1時間ほど経つ頃はたくさんあった品物がガランとしてきました



食堂では豚汁、おにぎらず、ぜんざい・・・
たくさん準備されました



客席は満杯でした



2016 クリスマスに想う

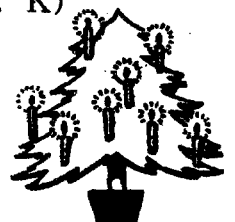
「マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」

イエス様は家畜小屋で生まれ、飼い葉桶、つまり牛たちの^{よだれ}涎がしみ込んだ餌箱がイエス様の最初のベットでした。さぞかし臭かったことでしょう。ファブリーズを貸してあげたいくらいです。

しかし、なぜ泊まる所がなかったのでしょうか。お腹の大きいマリア様を見て、面倒だなと宿屋の主人は思ったかもしれません。それよりも、混雑が予想されたのにヨゼフ様とマリア様はもっと早くナザレを出発すればよかったののではないのでしょうか。早く出かけていれば宿屋に部屋があったかもしれません。ナザレからベツレヘムまでは直線距離で130 kmくらいです。山道もあり、徒歩やロバでは数日かかったことでしょう。しかし彼らには早く出発出来ない事情があったのです。貧しいふたりは出発直前まで仕事をしなければならなかったのです。年末、郷里へ帰りたくても生活のために働かなければならない、非正規で働いている若者たちの姿とダブリます。

程なく、生まれたばかりのイエス様とご両親は赤ちゃんたちを殺そうとしているヘロデ王から逃れるために、エジプトへ向かいます。しかし、エジプトには彼らの家はありません。三人は難民になったのです。今も世界中では6500万人の難民がいると言われます。日本の人口のほぼ半分が難民なのです。寒い冬、彼らには家がありません。今晚もどこかの難民キャンプの寒いテントの中で、新しい命が誕生していることでしょう。両親は赤ちゃんの顔をみながら、喜びとともに将来の不安を感じています。どうか生まれた赤ちゃんにご両親に、天使が告げた、「インマヌエル、神は私たちと共にある」というクリスマスのメッセージが届き、少しでも希望を持つことができますように。

「今日、私たちのために救い主が生まれた」メリークリスマス。 (Y. K)





✿ ✿ 信仰のルーツ ✿ ✿

神様のはからいの中で

今年も日本、世界を見渡すと色々な事がありました。心温まる事や、胸の痛む様な事、身近な所では、博多駅の道の陥没と言うビックリする様な事もありました。私自身の一年も振り返ってみますと、今年も神様に守られて何とか無事に過ごすことが出来た事を感謝しています。これまでも神様は、とても素晴らしい贈り物を下さいました。目に見えない御縁と言うものでしょうか奇跡と思ったのは、私の母方の叔母と主人の母の実家が修道院を挟んでお隣同士で知り合いだったこと、洗い場が一緒によく話していた事や、私たち二人の両親が別々の教会で、結婚式が同じ日だった事等、後に私たちが結婚するとは想像も出来なかったことだろうと思います。

今年一番嬉しかった事は、お嫁さんが洗礼を受けてくれたことです。お嫁さんのお母様が家に二つの宗教があっではいけないからと後押しをして頂いた事、信者さんではないのに神様の素晴らしさを自然と御理解下さった事が何よりの事でした。もう一つは10年程前の事です。友人の家に行った時にその日はとても風が強く、玄関の扉に手を置き、その手を引いた瞬間風の勢いでドアがバターンと閉まりビックリする様な音でした。今思い返すと指が挟まっていたかと思うとゾーとします。体が震えて来ます。今どんな生活を強いられているかと思う時、神様の存在を忘れる事は出来ません。神様は私にとっては心の師とも言う存在です。日常の忙しさにまぎれて、お祈りが足りなくなってしまう時でも、いつも私の側に居て私をも守って下さっていると思うのです。

母が病床にあった時に母と一緒にロザリオを唱えたりしました。その時の母は、ロザリオを片時も離さず、ロザリオを持っている母は和やかで安らかな顔をしていました。神様の元に召された時に神様の存在、ロザリオの偉大さを感じ死を受け入れられる瞬間でもありました。

今から神様の愛を必要とする人はますます増えて来ると思います。自分の今在る事に感謝し、一人でも多くの方が神様の愛に包まれる様にお祈りを捧げていきたいと思います。

(N.H)



編集後記 ークリスマスによせてー

初めて父親になった時、神様からサンタクロースの住所を教えていただいた。息子たちは、クリスマスが近づくとプレゼントのリストを私に託していた。ある年の子供たちの会話。「今年はバスケットボールのゴールを頼もうか」「大き過ぎてサンタさん運べるかな」「サンタクロースは世界中を回るんだから、ゴールは小さくしてソリに乗せるから大丈夫さ」

今は父親になった息子たちも、きっとサンタクロースの住所を知っているに違いない。もちろん私もサンタクロースの住所を覚えている。 (Y. K)

小さい頃、枕元に置いてあった銀色のベルの形をした入れ物の中にお菓子が詰まっていたプレゼント、今でもその時を覚えています。「わー、お母さんが置いてくれたんだ！」わかっていてもうれしかった。 (J. N)

今年も気づけばもう12月、なんだかバタバタと慌ただしい一年でした。静かに祈る時がなかった思いもしますが、そんな中でも元気に過ごすことができ、あらためて神様がいつも見守ってくださっていることを感じ、感謝の年になりました。皆様はどんな一年でしたか？メリークリスマス！よいお年を。 (Y. K)

クリスマスと聞くとやはり子供の頃を思い出す。その度に幸せな気持ちになるのは、幸せな子供時代を送ったということだろう。世界中の子供たちが平和で幸せなクリスマスを迎えられるようになりますように！ (F. K)